

大学図書館研究会東京地域グループ
2025/2026年度総会議案

1.	第1号議案	1
1.1.	2024/2025年度活動総括	1
1.2.	2024/2025年度決算報告・会計監査報告	3
2.	第2号議案	3
2.1.	2025/2026年度活動方針	3
2.2.	2025/2026年度予算案	4
2.3.	2025/2026年度地域グループ運営委員会及び会計監査人	4

1. 第1号議案

1.1. 2024/2025年度活動総括

① 特記事項

1. 編集委員会からの依頼により、会報『大学の図書館』5月号の編集を担当した。
テーマ：外国雑誌の今を知る 2025

② 研究企画（担当：下山，野村，松原，山口）

見学会を1回、関東地域グループ合同例会を1回開催した。また、オンラインでの情報交換会を1回、対面での情報交換会を1回開催した。

- 情報交換会（総会同日に開催）
日時：2024年8月4日（日）11:15-12:00
会場：銀座ルノアール貸会議室マイ・スペース新宿3丁目ビッグスビル店7号室
トークテーマ：大学図書館に関する情報交換
参加者数：7名
- 第1回情報交換会
日時：2024年11月9日（土）13:30-15:00
会場：オンライン開催（Zoom）
トークテーマ：全国大会への参加報告
参加者数：9名
- 関東地域グループ合同例会
日時：2025年2月24日（月・祝日）13:15-14:45
会場：みらいスペース市ヶ谷
テーマ：「72歳のウィキペディアが語る、時空を超える司書の仕事」
講師：門倉百合子氏
共催：千葉地域グループ
参加者数：17名

- 第1回見学会
日時: 2025年6月7日(日) 10:40-12:10
場所: 霞会館記念 学習院ミュージアム
参加者数: 7名
特記事項: 見学先選定にあたっては事前に会員から見学先候補を募り、提案のあった施設より運営委員会で検討の上選定した。

③ 広報(担当: 下山、野村、松原)

東京地域グループの情報を発信する手段として、地域グループニュースレター・地域グループメーリングリスト(以上地域グループ会員向け)、Webサイト・Twitter(以上2つは大図研非会員等対外向けを含む)を使用し、またこれらの安定運用に努めた。

1. 東京地域グループニュースレターを4回発行した。
・264号(2024年11月)/265号(2025年1月)/266号(2025年5月)/267号(2025年6月号)
なお、PDF版については、東京地域グループのWebサイト上で公開している(<https://daitoken.com/tokyo/newsletter.html>)。
2. 東京地域グループメーリングリスト (d-tokyo@daitoken.com) を用いて、例会等のお知らせを行った。なお、登録アドレス数は2024年6月30日現在で96件(アドレス数。昨年度より3件減)である。
3. Webサイト (<https://daitoken.com/tokyo>) にて、ニュースレター、運営委員会記録、例会のお知らせ等を掲載した。
4. 東京地域グループ公式のTwitter(アカウント@dtk_tokyo)を活用し、当グループおよび大図研(他グループを含む)の活動PR等を行った。なお、ツイート数は合計210件(運用開始時からの累計)、フォロワー数は139名である(2025年6月30日現在)。
5. また、当地域グループで運用しているこれら4つの手段の他、大学図書館研究会(全国)のメーリングリストへの投稿を通じ、東京地域グループ主催の企画等周知に努めた。

④ 事務局(組織)(担当: 下山)

2024/2025年度は新規加入会員なし、退会会員は6名であった。(内1名は大図研会員としては継続。他、2023/2024年度末除籍者2名)

2025年6月30日現在の会員数は75名である。(この内6名は同日付で大図研退会の予定。また、翌日7月1日付での入会1名)

⑤ 会計(担当: 松原、山口)

1. 地域グループ活動費については全国事務局会費徴収担当より3回(7月、1月、6月)に分けて振込があった。過年度の未収金については引き続き督促を実施した。
2. 支出については、運営委員会が全てオンラインで行われたため交通費や会場費が発生しなかったが、研究企画費、印刷費、通信費、サーバレンタル費が予算案を超過し、最終的に予算案に対して若干の支出減となった。
3. 銀行口座について会の名称変更に対応できていなかったため、新名称に対応した新規口座を開設した。

⑥ 地域グループ運営委員会活動報告(担当: 山口)

1. 下記の分担により東京地域グループの運営を行った。
 - a. 代表: 山口
 - b. 副代表: (空席)

- c. 事務局（含：組織）：下山
 - d. 研究企画：下山, 野村, 松原, 山口
 - e. 広報：下山, 野村, 松原
 - f. 会計：松原, 山口
 - g. 全国委員：下山
 - h. オブザーバ：磯崎, 立原, 林
2. 2024年9月から2025年6月まで、以下のとおり地域グループ運営委員会を開催した。

回	年月日	開始時刻	終了時刻	会場
1	2024/9/17	20:00	21:00	オンライン
2	2024/10/15	20:00	21:00	オンライン
3	2024/11/12	20:00	21:00	オンライン
4	2024/12/10	20:00	21:00	オンライン
5	2025/1/14	20:00	21:00	オンライン
6	2025/2/18	20:00	21:00	オンライン
7	2025/4/8	20:00	21:00	オンライン
8	2025/5/13	20:00	21:00	オンライン
9	2025/6/10	20:00	21:00	オンライン

今年度はオンラインのみでの開催とした。オンライン開催の際は東京グループで契約しているZoomを使用してビデオミーティングを行い、Google ドキュメントを使用したテキストチャットも併用している。

地域グループ運営委員会の議事要旨については、大学図書館研究会東京地域グループ Web サイト (<http://www.daitoken.com/tokyo/>) にて公開している。

また、運営委員会の作業をスムーズに行うため、グループウェア Backlog（無料サービス）と Microsoft365 を利用した。

1.2. 2024/2025 年度 決算報告・会計監査報告

(別紙)

2. 第2号議案

2.1. 2025/2026 年度 活動方針

① 研究企画

以下を目的として、年2回程度の講演会・見学会を実施する。また、会報『大学の図書館』編集を1号分担当し、東京地域グループをアピールする。

- a. 地域グループ会員による発表の場の提供
- b. 地域グループ会員の専門的知識の獲得と専門的スキルの向上
- c. 他地域グループ・研究グループ・他組織との交流

なお、講演会・見学会等の実施に際しては、新型コロナウイルス感染症等の状況も踏まえながら、オンライン開催と対面方式での実施を使い分けることを検討する。新規会員の獲得や東京地域グループの認知度向上にも努める。

加えて、会員間の交流を深めることを目的として、情報交換会を年2回程度実施する。

引き続き、会員からの意見をより企画に反映できるよう留意する。

② ニュースレター「d-tokyo：大学図書館研究会東京地域グループニュースレター」

以下を目的として、年4回程度の発行を目指す。

- a. 地域グループ会員への情報提供
- b. 地域グループ会員間の交流
- c. 地域グループ会員による発表の場の提供

③ 広報

東京地域グループの活動を地域グループ内外に報知し、適切な情報提供・情報共有を行い活発な交流の場を実現するために、引き続き会員向けとしてニュースレターとメーリングリスト、対外向けにSNSを活用する。合わせて、必要に応じて大図研の他組織にて運営する広報手段への掲載依頼を行う。

特に、対外向けに運用するウェブサイトやSNS(全国組織のSNS)は不特定多数に当地域グループのみならず大図研を広く周知されることが可能であり、新規会員獲得に結びつけるための手段とも位置付ける。しかしながら、近年のXの仕様変更等により、Xユーザ外への訴求力がなくなり、今後の継続については再度の検討が必要と考えられる。そのため、2025/2026年度においては、Xの状況を分析し、今後の継続可否について検討することとしたい。

また、大図研会員以外でも参加可能な例会等については、図書館関連イベント情報を発信する外部の媒体への告知を行う。

④ 事務局(組織)

全国組織との情報乖離が無きよう、全国組織から連絡があった際には迅速に対応を行う。

⑤ 会計

引き続き、収支バランスの適正化を図る。また、必要に応じて過年度会費未納者の督促を行う。

⑥ 地域グループ運営委員会

月1回の打合せ(基本的に毎月第2火曜日。状況に応じて調整する)を行い、東京地域グループの運営を合議によって決定する。オンラインによる打ち合わせを基本とするが、必要に応じて対面の打ち合わせも行う。

グループウェア Backlog, Microsoft365 を継続して活用する。

2.2. 2025/2026年度 予算案

(別紙)

2.3. 2025/2026年度 地域グループ運営委員会及び会計監査人

※総会当日に提案するものとする。

以上